
宮崎大学大学院医科学看護学研究科アドミッションポリシー

修士課程（医科学専攻）

分子生物学、遺伝子科学、人工臓器開発など、生命科学分野の急速な進歩を受けて、21世紀における医学・医療の発展には多様なバックグラウンドを持つ優秀な人材の医学研究への参加が求められています。

このためには、理学、工学、農学、薬学のみならず様々な分野からの人材の確保と、これらの人材と医学研究とを有機的に結びつける教育が重要課題となっています。

他の学問分野の知識・技術を身に付けた若い優秀な人材が医学的視野を学習し、医学・医療分野の研究及び教育に参画することにより、今後の医学・医療のさらなる発展が期待されます。

本研究科修士課程（医科学専攻）では、医学部医学科・歯学部歯学科・獣医学部（獣医学科）以外の学部卒業生を幅広く迎え入れ、広い視野に立って精深な学識を修得し、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要なる能力を養うことを目的とし、医学の発展と社会の福祉の向上に寄与する人材の育成を使命としています。したがって、本課程では、次のような人を求めています。

- ・ 医学の基本的知識や研究手法を修得することで、これまでに培った専門分野での研究・技術開発に新たな視点から取り組むことを志す人
- ・ 他の学問分野の専門知識・技術を基盤として、新たな視点で医学・医療、福祉分野での問題解決に取り組むことを志す人
- ・ 他の学問分野で培った専門知識・技術を基盤として、学際的視点から生命科学研究の発展に寄与することを志す人

修士課程（看護学専攻）

生命の尊厳を基盤に、生活者のQOLの向上のため、批判的思考や高度な問題解決能力を持ち、看護の方法を探究・実践・開発し、地域の保健・医療・福祉の向上と看護学の発展に寄与する人材が求められています。

このような社会のニーズに応えるためには、看護及び関連領域の学部卒業生のみならず、各種医療・保健・福祉の現場で働く社会人を幅広く受け入れ、相互交流により広い視野に立った学問の探究ができる場が必要と考えます。このため、社会人特別選抜入試や長期履修制度を導入し、働きながら修学可能な道を設けています。

本研究科修士課程（看護学専攻）では、問題解決能力を有する看護実践者の育成と看護学の教育・研究者の素地育成を目的として、各種の医療機関、保健・福祉施設、行政、教育・研究機関などにおいて、看護実践・指導・研究・教育が出来る人材の育成を使命としています。したがって、本課程では、次のような人を求めています。

- ・ 専門職業人として看護実践の質向上を図るために、より高度な問題解決能力や実践成果の検証方法の探究を志す人
- ・ 看護の分野において、専門的知識と学識及び基本的研究能力を培い、看護領域の教育者・研究者を志す人
- ・ 他の分野で培った専門知識・技術を基盤として、地域の保健・医療・福祉分野での実践、教育、研究の発展に寄与することを志す人